

[発行]社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会
〒468-0015/名古屋市天白区原一丁目301 原ターミナルビル3階
TEL809-5550 FAX809-5551 E-mail:tenpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp

天白区社協

検索

情報紙「ぱわわ」へのご意見、ご感想もはがき・FAX・メールにて受け付けています



視覚障がいその他の理由で活字のままでも読むことが困難な人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大図書」等の製作をすることを認めます。

クローズアップ!

1 高坂学区地域福祉推進協議会

空の下でのオープンサロン♪「TS倶楽部」

高坂学区では、「コロナ禍の今だからこそ屋外のサロンが必要だ!」と今年6月に「TS倶楽部」を立ち上げました。(TSはTAKASAKAから取りました)

開催場所は高坂公園のため換気は抜群!暑い日はパラソルや木陰の下で、寒い日は日向ぼっこをしながら美味しいコーヒーを飲んでおしゃべりしています。感染症対策だけでなく、参加しやすく男性も女性も気軽に立ち寄れるサロンになっています。

また、他にも「いきいきサロン」や「サロンわかば」等も開催時間を早めて入れ替え制にしたり、開催場所を広げ3密を避けたり、デコレーションをしたおそろいのマウスシールドをしたりと感染対策を取りながら実施しています。



外なら換気抜群!

「手芸・わかば」や「袖の会」では手作りマスクで、学区のみなさまに喜ばれています。



2 平針南学区地域福祉推進協議会

笑顔と安心をお届け!「配食サービス」

平針南学区では、平成8年度から24年の長きに渡り、地域のご高齢の方々への配食サービスが行われています。新型コロナウイルス感染拡大のため一時期中断しましたが、10月からは月3回再開されました。

調理人数を絞り、換気、消毒を徹底するなど感染防止対策を講じ、推進協のメンバーでシフトを組み交代で、毎回献立を持ち寄り、お弁当を作っています。メニューを考えるときは栄養のバランスを第一に考え、味付けも入念にチェック。メンバーの経験が活かされています。

そして、お届けするのは八千代会(老人クラブ)のみなさん。手分けして、ご高齢の方々のご自宅までお届けします。みなさん、出来立てのお弁当を心待ちにされ、手渡しの際、近況をうかがいながらつながる安心感もお届けしています。

長年、続けられる秘訣は、お弁当がうまくできたときの達成感と「おいしかったよ」の声をきいたときの喜びです。お弁当が地域のつながりを作り続けています。



コロナ禍だからこそ配食で人とのつながりを再確認

天白区社会福祉協議会キャラクターてんてん

3 表山民生委員・児童委員協議会

往復はがきで「つながり」を確認

コロナ禍により年度当初は民生委員の戸別訪問も限定的になり、その結果、高齢者の様子を知る機会が失われる事態になりました。

様々な制限がされる中、人との接触を避けながらできる取り組みはないか模索し、6月に民生委員の訪問拒否・担当不在地区の方を中心に往復はがきを利用した安否確認(お便り訪問)を実施しました。

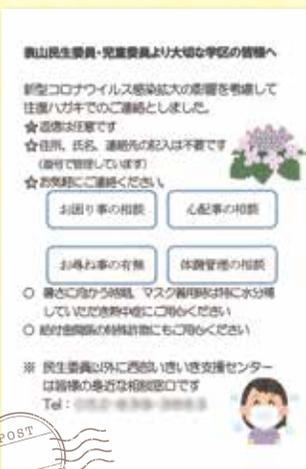
往信には定型のあいさつ文に加え、担当者からのひと言を添え、返信には日ごろの様子、不安なこと、ご要望などを書いていただくようにしました。

返信数は全体の約3割でしたが、日ごろあまり接点がない方からのご意見をきくことができました。なお、年度内には見守り対象者全世帯を対象に第2回目を実施する予定です。

人と直接会う機会が今しばらく限られますが、昔ながらの「お便り」でつながりを確認することができました。



往復はがきで「まごころ」のキャッチボール



4 相生学区地域福祉推進協議会

コロナに負けるな!健康長寿は足腰から

相生学区では、「コロナに負けるな!健康長寿は足腰から」を総合テーマに、学区在住65歳以上の方及びそのご家族を対象にした地域福祉講座(2回講座)を企画、開催しました。



第1回目の様子

毎年総合テーマを変えながら継続実施されている地域福祉講座は、本年度で8年目。講座第1回目の10月10日は、「今こそチェック!わたしの身体」と題し、体組成・血管年齢・骨密度・血圧・視力測定、福祉用具の展示や体験の他、専門職による個別相談も実施。

そして、講座第2回目の11月7日は、「理学療法士さん直伝!足腰が弱ってきたときの生活の知恵」と題した講話を実施しました。

参加された方々からは、「自分の身体の状態を数値として知ることができた機会になった」、「専門職の方に直接相談したりお話をきいたりすることができて良かった」、「久しぶりに近隣の方とお会いすることができて嬉しかった」などの声がきかれました。



第2回目の様子



自粛生活でも足腰を弱らせない!!

No.56 ぽわわな 介護日記 認知症の人の世界を知る(その55) 『認知症の方の理解』 ～この「記憶」の片隅に～

認知症の方の脳を活性化する方法に回想法があります。昔の写真などを見ながら経験を語り合っただけで回想することで脳を刺激します。今回はその回想のお話です。

Iさん(90歳女性)は、短期記憶障害の認知症の方でご主人と暮らしています。ある夏の訪問時、ヘルパーはIさんがTVの戦争番組に集中しているのを見て、回想の機会と思い戦争の話題を振ってみました。すると、Iさんは急に真顔で「私、原爆にあったの」と語り始めました。

Iさんは、長崎市出身で戦争当時は学生でした。父は、貿易船の船長でした。戦況の悪化に伴い、学徒動員の軍事通信の任務で海外の部隊へ配属。懸命に任務を行う中で、ある沈没船の情報を受信しました。その船は、軍事登用されて物資を



運んでいた父の船でした。Iさんは、父の最期を通信で知って悲しかったです。さらに戦況は悪化。部隊は撤退し、8月8日に長崎に戻ることに。その翌日、長崎市役所へ手続きに行った際に原爆にいました。かろうじて軽傷で済んだIさんはすぐに元の部隊へ戻されて海外で任務を継続。終戦後、ようやく帰国されご主人と出会い、今に至ります。Iさんは、被爆時の滞在が短く、証明できる人や書類もなかったため、被爆者認定を受けられず、苦勞しながらも頑張って生きてこられたようです。

ヘルパーは、Iさんの衝撃的な話と詳細な説明に驚きました。直前のことを忘れるIさんでしたが、TV番組をきっかけに回想して脳が刺激され、戦争当時の記憶を鮮明に思い出していました。話し終えたIさんは「まるで映画でしょ!こんな私でもヒロインになれるかしら」と笑ってました。語り継いでいくべき「記憶」がそこにありました。(モカ)

ぽわわな 子育て日記 No.66 『子育て方針』

毎日ドタバタで子育て方針など考える余裕もなく、子どもに対して毎回違うことを言ったり「ゲームは30分だけ」と決めた横で、パパがだらだらゲームをやっていたり…

方針ブレブレのわが家ですが、ひとつだけチビに対して言わないように気をつけていることがあります。

それは、「ねえねは障がいがあってもがんばってるんだから、チビはもっとがんばらないといけないよ」といった類の言葉です。

だって、みなさんも子どもの頃、先生や両親に「世の中には、学校に行けない子どもがたくさんいるんだから、しっかり勉強しなさい」とか、「貧しくてお腹いっぱい食べられない子どもたちもいるんだから、給食は残さず食べましょう」などと言われて「そんな関係ねえ」って思った記憶はありませんか(笑)?

たしかに、健康で食べるものにも

困っていないことを感謝しなくちゃいけません、いちいち大人が言わなくても子どもは子どもなりに全力で毎日を生きています。

ねえねにはねえねの、チビにはチビの人生がある。あつという間の子ども時代、めいっばい楽しんでほしいと思っています。

さて、来年の誕生日でねえねは14歳、チビは12歳になります。というわけで、次回3月号のコラムをもちまして、サトコは担当を卒業します。

こんなドタバタな文章におつきあいいただいた読者のみなさま、スタッフのみなさま、本当にありがとうございました。

ラスト1回、どうぞよろしくお祈りします。(サトコ)



ふれ愛ネット天白 会員募集中!

https://www.facebook.com/fureainettenpakukufukushikuminnotsudo

ふれ愛ネット天白とは 天白区内の障がい児者・子ども・高齢者に関わるボランティア・団体・施設等が所属するゆるやかなネットワークです。

問合せ先 「ふれ愛ネット天白」事務局 (天白区社会福祉協議会内) TEL809-5550 FAX809-5551

事業所紹介「だいふくハウス」

2018年にスタートした障がい者の共同生活援助事業所(グループホーム)です。現在、天白区に1か所、南区に2か所グループホームを運営しています。定員は4名から5名の少人数のグループホームです。

ホームの名前の由来 ホームに住む方、ホームで働く方、ホームに関わってくださる方、みなさんに大きな福が訪れることを願いグループホームの名前を、だいふくハウスとしました。だいふくハウスから、幸せを発信できるような、そんなホームを目指しています。

だいふくハウスの想い だいふくハウスでは、みんなの家であるということ大切にしています。家とは、住む人にとって、落ち着く場所、心が安らぐ場所、安心できる場所だと思います。だいふくハウスが、そんな場所になることを願いながら日々活動をしています。



お問い合わせ ご見学・ご相談は 合同会社 きんぷく だいふくハウス 天白区保呂町2432番地 TEL893-6333 (担当/松嶋)

この指とまれ! 情報コーナー

シーン・ボイスガイド付き上映会

「シーン・ボイスガイド」とは、映画の流れに沿って、場面の情報を声で伝えていくガイドです。視覚障がいのある方もない方も、お気軽にご来場ください。(※会場が新型コロナウイルス感染症の影響で閉館の場合は、中止になります)

- 日時: 2月28日(日) 開場 13:00 上映時間 13:30~15:30
- 場所: 天白区在宅サービスセンター研修室
- 内容: 「男はつらいよ お帰りの寅さん」
- 定員・費用: 先着30人・無料
- 申込: 2月24日(水)までに、電話、FAX、または窓口にてお申し込みください。なお、FAXの場合は、住所・氏名・電話番号・「シーン・ボイスガイド付き上映会参加希望」と明記のうえ、お申し込みください。FAXが届きましたら折り返しお電話をいたします。
- 問合せ: 天白区社会福祉協議会(担当/磯村) TEL809-5550 FAX809-5551

第72回赤い羽根協賛 天白区入選者 児童生徒作品コンクール

天白区内の小中学校の児童生徒から、ポスター94点と書道129点の応募がありました。審査の結果、下記のとおり入選者を決定いたしました。

書道の部 (敬称略)

金 大坪小学校6年 鈴木 結女 募共金同	銅 原中学校1年 小林 悠栞 社地活動福	銅 植田中学校3年 小川 愛 根赤募金羽
銀 野並小学校3年 荒井 紀子 んぼさ	銀 野並小学校6年 松山 真奈 募共金同	銀 植田中学校2年 小林 唯花 社地活動福
銀 久方中学校3年 藤井 りお 金共同募	銀 植田中学校2年 武田 知代 社地活動福	銀 天白中学校2年 近藤 里咲 社地活動福
銀 久方中学校3年 塩塚 薫音 金共同募	銀 天白中学校2年 近藤 里咲 社地活動福	銀 久方中学校3年 藤井 りお 金共同募

ポスターの部 (敬称略)

金 高坂小学校1年 権田 清風 ポスターの部	銅 野並小学校5年 柴田 りこ ポスターの部	銅 久方中学校3年 吉村 あろは ポスターの部
銀 野並小学校3年 本田 翠 ポスターの部	銀 表山小学校6年 金子 凜 ポスターの部	銀 植田中学校1年 古川 春花 ポスターの部
銀 野並小学校3年 荒井 紀子 ポスターの部	銀 野並小学校6年 松山 真奈 ポスターの部	銀 植田中学校2年 小林 唯花 ポスターの部

次の方より天白区社会福祉協議会にご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。天白区の地域福祉推進に有効に活用させていただきます。(令和2年8月1日から10月末日受付分 受付順)
●岩井 文様 ●合計 1件